

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (米国FOMC)

2022/1/27

りそなホールディングス 市場企画部



### 〇概況

- ◆ 政策金利を据え置きとし、誘導水準は0.00~0.25% (全会一致)
  - ◆ 3月会合での利上げ開始を示唆。テーパリング (量的緩和の縮小) を進め、3月初旬に量的緩和を終了することを決めた
  - ◆ 利上げやバランスシート縮小ペース等の米金融政策の不透明感は強く、2月中旬のパウエル議長議会証言、FOMC議事録が注目される
- ✓ FRB1/25-26のFOMC (連邦公開市場委員会) で、政策金利である FF金利の誘導目標を0.00~0.25% (金利据え置き) とした。全員一致。
  - ✓ 声明文では、「インフレ率が2%を大きく上回り、労働市場が堅調であることから、委員会はFF金利の目標誘導レンジの引き上げが間もなく適切になると予想する」として、3月会合からの利上げ開始を示唆した。
  - ✓ テーパリング (量的緩和縮小) を進め、3月初旬に量的緩和を終了することを決めた。一部に2月に前倒しとなると思惑が浮上していたが、12月会合での方針を維持した。
  - ✓ 記者会見では、今後の利上げのペースについて質問が相次いだ。パウエル議長は、今回の会合では議論しなかったとした。一方で、前回の2015年からの利上げ局面と比較して、物価や雇用の見通しが明確に上振れしているとして、着実に利上げを実施していくことを示唆した。
  - ✓ またバランスシート縮小については、「FRBのバランスシート縮小の原則」について公表。具体的な議論についての質問が相次いだ。次回以降も議論を進め適切な時期に公表するとした。利上げの議論同様、バランスシートについても、明確な方向性は示していない。
  - ✓ FOMCについては、3月利上げの示唆、3月テーパリング終了、バランスシート縮小の議論開始とほぼマーケット予想通りの内容であったと言える。一方、0.50%の利上げや毎回の利上げ等の質問について、明確な否定をしなかったことが市場には失望と受け止められ、金利は上昇、株安が進行した。
  - ✓ 2月中旬のパウエルFRB議長の議会証言や16日議事録が注目されるが、目先はFRBがどのようなペースで利上げ、QTを進めていくのか不透明感強く、マーケットは不安定な値動きをしやすいであろう。

### FRBの景気見通し (12月会合)

【出所】FRB

	FRB見通し (中央値)				
	2021	2022	2023	2024	長期
実質GDP	5.5↓	4.0↑	2.2↓	2.0	1.8
2021年9月時点	5.9	3.8	2.5	2.0	1.8
失業率	4.3↓	3.5↓	3.5	3.5	4.0
2021年9月時点	4.8	3.8	3.5	3.5	4.0
PCEインフレ率	5.3↑	2.6↑	2.3↑	2.1	2.0
2021年9月時点	4.2	2.2	2.2	2.1	2.0

### FOMCメンバーの政策金利見通し (12月会合) ※数字は人数、黄色は中央値

	今後の利上げ回数	2022		2023		2024		Longer run	
		9月	12月	9月	12月	9月	12月	9月	12月
3.125	12回						1		
3.000								2	2
2.875	11回						4		
2.750									
2.625	10回					1			
2.500								9	9
2.375	9回					1	2	1	1
2.250							1	4	4
2.125	8回				3	6	5		
2.000								1	1
1.875	7回				5	1	5		
1.750									
1.625	6回			3	3	2			
1.500									
1.375	5回				5				
1.250									
1.125	4回		2	6	2	3			
1.000									
0.875	3回		10	1		3			
0.750									
0.625	2回	3	5	3		1			
0.500									
0.375	1回	6	1	4					
0.250									
0.125	現在	9		1					
0.000									
平均値		0.292	0.806	0.889	1.653	1.639	2.313	2.463	2.463
中央値		0.125	0.875	0.625	1.625	1.750	2.125	2.500	2.500

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。